

「情報化シンポジウム・イン・大阪」のご案内

IoT、ビッグデータ等を活用した新たなものづくりの方向性を探る

～ファブラボ、オープンイノベーションを通じた新規事業開発と地域の活性化～

日時：2016年12月6日（火）13:30～16:50

場所：大阪大学中之島センター 10階 佐治敬三メモリアルホール

TEL 06-6444-2100 https://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/img/map_jn.pdf

最寄駅：京阪中之島線 中之島駅 徒歩約5分

阪神本線 福島駅 徒歩約9分

ご参加の対象：企業や自治体に勤務する方々、情報化やものづくりに関心のある方々

入 場 無 料

<主催>

情報化推進国民会議（事務局：公益財団法人日本生産性本部）

公益財団法人関西生産性本部 一般財団法人関西情報センター

NPO 法人地域情報化推進機構 KANSAI@CAN フォーラム NPO 法人 HINT

<後援>

総務省近畿総合通信局、経済産業省近畿経済産業局、NTT西日本(株) 経営企画部

○ 開催趣旨

本年6月に閣議決定された「日本再興戦略2016」では、2020年までに名目GDP600兆円を達成する取り組みを進めるため、情報通信技術や人工知能等を活用して新たな有望成長市場を創出して「第4次産業革命」を実現させるなど10の成長戦略を掲げました。しかしながら、日本を再興させるためには、国としての産業政策や産業構造の転換、大胆な規制緩和も含めた政策の後押しが不可欠です。

一方、地方は厳しい財政状態が続いており、人口減少や少子高齢化とともに、産業の活性化や雇用環境の改善に対処していくためには、固有の資源を最大限に活用しつつ、域外の企業、大学や社会起業家などが有する技術、アイデアやサービスなども取り入れ、革新的なビジネスモデルや製品の開発、サービスの向上に繋げていくオープンイノベーションを推進していかなければなりません。また、ものづくりの分野においては、製造のあり方を変える可能性を持つファブラボ(3Dプリンターやレーザーカッター等のデジタル工作機械が誰でも使える工房)が各地に設立され始めており、注目を集めています。

「情報化シンポジウム・イン・大阪」はこうした認識の下、ドイツやアメリカのIoTやビッグデータ等の先進動向も踏まえた上で、ものづくりの新しい萌芽を我が国製造業の今後や第4次産業革命の実現に繋げていくにはどうすべきか、併せて地域を活性化し、社会的課題や自社課題を克服していくヒントについても探ってまいります。

開会挨拶 <13:30～13:40>	公益財団法人 関西生産性本部 専務理事 小宅 誠司
基調講演 <13:40～14:30>	「ものづくりの現状と今後の課題～第4次産業革命の実現に向けて」 経済産業省 製造産業局 ものづくり政策審議室 室長補佐 安藤 尚貴 氏
特別講演① <14:30～14:45> 特別講演② <14:45～15:00> 休憩 10分 特別講演③ <15:10～15:25> 特別講演④ <15:25～15:40>	「ファブラボの可能性～機械工作、電子工作からバイオ研究～」 ファブラボ浜松テイクスペース 代表 竹村 真人 氏 「最先端デジタル製造技術と日本伝統建築構法の融合を活かして 地域課題や社会問題の解決をめざす」 株式会社 VUILD design&management 代表取締役 秋吉 浩気 氏 「ものづくりのバリアフリー化～必要なものを自ら作る文化を」 多摩ファビリティ研究所 代表 倉本 義介 氏 「IoT、ビッグデータ等を活かした第4次産業革命実現の条件 ～欧米の最先端動向と日本のめざす道～」 日本経済新聞社編集委員 関口 和一 氏
パネルディスカッション <15:40～16:50> パネリスト コーディネーター	「IoT、ビッグデータ等を活用した新たなものづくりの方向性を探る ～ファブラボ、オープンイノベーションを通じた新規事業開発と地域の活性化」 ファブラボ浜松テイクスペース 代表 竹村 真人 氏 株式会社 VUILD design & management 代表取締役 秋吉 浩気 氏 多摩ファビリティ研究所 代表 倉本 義介 氏 日本経済新聞社 編集委員 関口 和一 氏 特定非営利活動法人 地域情報化推進機構 副理事長 野村 靖仁 氏

■参加お申し込み・お問い合わせ先■

(公財)日本生産性本部 情報化推進国民会議事務局
TEL: 03-3409-0931/FAX: 03-3406-9733 E-mail: cisi@jpc-net.jp
URL: <http://www.jpc-net.jp/cisi/sympo2016oosaka.htm>

*上記 FAX、e-mail またはホームページからお申し込み下さい。参加証は発行いたしませんので、当日は会場へ直接お越し下さい。

.....
(公財)日本生産性本部内 情報化推進国民会議 行 FAX: 03-3406-9733

「情報化シンポジウム・イン・大阪」参加申込書 (4名以上の場合には空欄にご記入下さい)

組織名			
所在地	〒		
連絡担当者名		所属・役職	
連絡先	TEL :	e-mail :	
1	氏名	所属・役職	
	連絡先	TEL :	e-mail :
2	氏名	所属・役職	
	連絡先	TEL :	e-mail :
3	氏名	所属・役職	
	連絡先	TEL :	e-mail :

※ 個人情報の取扱いについて

- 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ (<http://www.jpc-net.jp/>) をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては内容をご確認、ご理解の上、お申し込みいただきますようお願いいたします。
- 個人情報は、『情報化シンポジウム・イン・大阪』の事業実施に関わる参加者名簿等の作成のために利用させていただきます。
- 『情報化シンポジウム・イン・大阪』の事業実施に関して必要な範囲で参加者名簿等の資料を作成し、当日講師等の関係者に限り配布させていただきます。但し、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。
- 個人情報の開示、訂正、削除については、情報化推進国民会議 (TEL:03-3409-0931) または総務部個人情報保護担当窓口 (TEL:03-3409-1112) までお問合せください。
- 本案内記載事項の無断転載をお断りします。